

『埼玉・市民ジャーナリズム講座 1周年記念の集い』

むのたけじが語る ジャーナリズム・メディアの再生

～戦後70年・未来への課題(仮)～

むのたけじ 100歳の集い

2015年3月8日(日)14時開会 北与野駅前 埼玉トヨペット大会議室

あくなき世界平和を望むジャーナリスト・むのたけじさん百歳に。

やさしい子どもへのまなざし、あのむのたけじさんは1月2日、百歳の誕生日を息子さんと埼玉、与野八王子で迎えました。今、語っていただきます。ジャーナリズムの今と未来。そして私たち一人ひとりに問いかけます。どうぞご参加ください。『埼玉市民ジャーナリズム講座』1周年の集い(第13回『講座』)として多くのみなさんに呼びかけます。

むのたけじさん プロフィール



1915年1月2日に秋田県仙北郡六郷町(現・美郷町)で百姓の子として生まれた。1936年3月に東京外国語学校を卒業、報知新聞に入社、地方支局と社会部で働く。1940年12月に職場を朝日新聞東京本社に移して社会部で働き、戦場にも出かけた。1945年8月の敗戦時に新聞人としての戦争責任を反省、ケジメとして朝日新聞を退社。そして苦悩の2年半を過ごす。1948年2月に秋田県横手市で「たいまつ新聞社」を作り、タブロイド判「週刊たいまつ」を発行。破壊された農業・農村を立て直し、戦争要らぬ・やれぬ社会づくりを提言。青壮年と女性の学習運動に努力した。経営は困難で、それを家族全員の労働で補いながら、発行を30年全国へ発信し続けたが、1978年1月第780号を出して休刊。今も時代への警鐘を……。

それから今日まで、常に生活者の視点から日本の姿を見つめ、鋭く深い思索に裏打ちされたことばを紡ぎだしてきた。日本は果たして生まれ変わったのか?を問いかけながら、今も「戦争のない社会の実現」に向けて言論活動を続けている。主な著書:『たいまつ16年』岩波現代文庫、『詞集たいまつI~VI』評論社、『戦争絶滅へ、人間復活へ』、『希望は絶望のど真ん中に』、『99歳一日一言』(以上岩波新書)など。2014年日本JCJ特別賞など受賞

日時 2015年3月8日(日)14時開会～16時半(開場13時半)

場所 埼玉トヨペット本社 大会議室(3階)

さいたま市中央区上落合2-2-1 048-859-4111(代) JR埼京線北与野駅前

参加費 1000円(資料等)

参加メ切 2015年3月2日(120名の座席です)

主催・よびかけ 『埼玉・市民ジャーナリズム講座』

(埼玉新聞サポーターズクラブ、日本機関紙協会埼玉県本部、NPO法人埼玉情報センター、さきたま新聞)

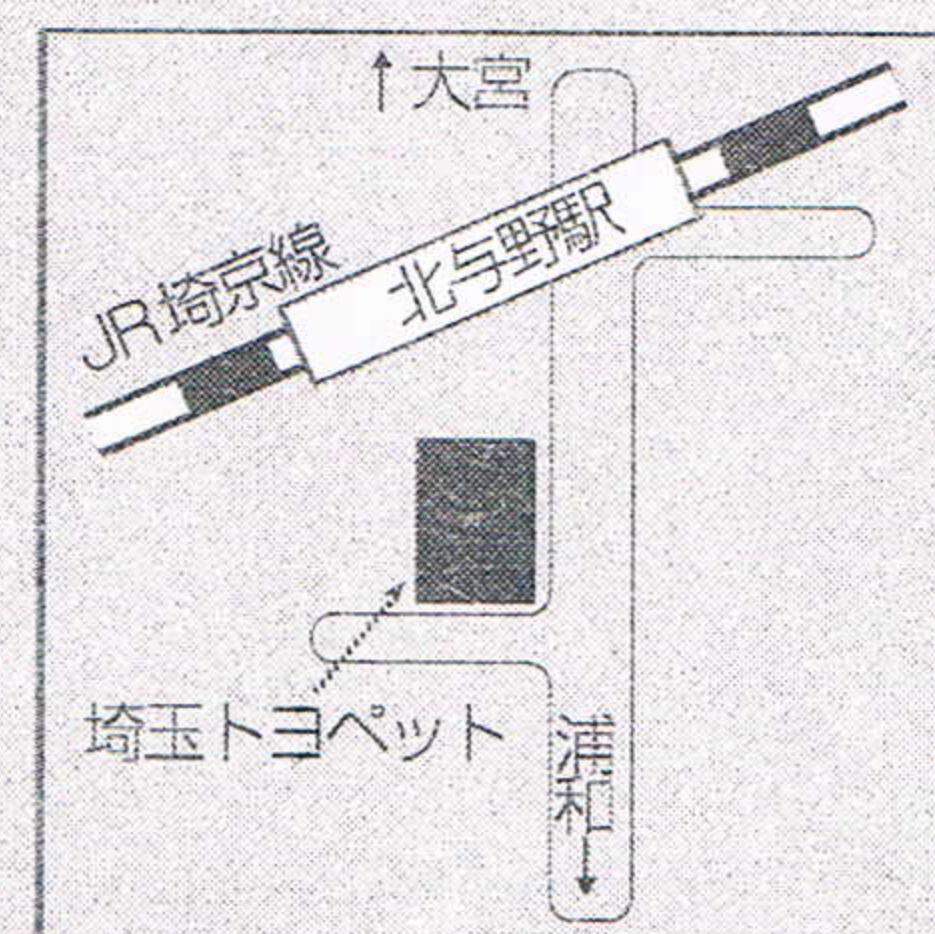
賛同・協力 埼玉新聞社/秋田を応援する首都圏文化会議/東京美入野(横手高校)同窓会/東京かまくら会/さいたま市

秋田ふるさと会/埼玉県平和資料館を考える会/所沢「平和都市宣言」実現する会/アンネのバラ友の会埼玉

(2015年1月14日現在、予定含み。賛同・協力募集中)

問合せ先 埼玉・市民ジャーナリズム講座

(連絡先:埼玉新聞SSC 武内 FAX 048-824-5626、メール takeuchi-one.123@ezweb.ne.jp、携帯090-2173-2591)



放送決定!

日テレ(4ch)「NNNドキュメント」『100歳、叫ぶ』むのたけじ——元従軍記者の戦争反対
1月25日(日)25:20～(30分) 再放送/BS日テレ2月1日(日)18:30～ 制作 秋田放送

3月8日 <むのたけじ 100歳の集い> 賛同・協力申込書(締切2015年1月末)

賛同・協力(団体・個人名)

連絡先(電話又はメールアドレス)

住所

月 日

※賛同・協力していただける方は住所、氏名、連絡先を記入のうえ下記まで FAX または下記メールアドレスまでお願いいたします。

賛同・協力は参加呼びかけをお願いするだけで費用などはかかりません。本チラシ作成時に記入させていただきます。

申込先 埼玉・市民ジャーナリズム講座(連絡先:埼玉新聞SSC 武内 FAX 048-824-5626 メール takeuchi-one.123@ezweb.ne.jp)